クラスタストレージレポートをカスタマイズする

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/reporting/task_create_report_to_view_capacity_by_cluster_model.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

クラスタストレージレポートをカスタマイズする 1
Active IQ Unified Manager でクラスタモデル別の容量を表示するレポートを作成する 1
Active IQ Unified Manager で未割り当て LUN 容量を持つクラスターを特定する 1
Active IQ Unified Manager で利用可能な容量が最も多い HA ペアを表示するレポートを作成する 2
Active IQ Unified Manager で古いバージョンの ONTAP
を実行しているノードを表示するレポートを作成する 3

クラスタストレージレポートをカスタマイズする

Active IQ Unified Manager でクラスタモデル別の容量を表示するレポートを作成する

クラスタのストレージ容量と利用率をストレージ システム モデルに基づいて分析するためのレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、クラスタ モデル別に容量を表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ > クラスター をクリックします。
2. 「表示」メニューで、容量 > *すべてのクラスター*を選択します。
3. 「表示/非表示」を選択して、レポートに表示したくない「`Cluster FQDN`」や「`OS Version`」などの列を削除します。
4. 「`Total Raw Capacity`」、「`Model/Family`」、および3つの集計列を「`Cluster`」列の近くにドラッグします。
5. 「`Model/Family`」列の上部をクリックすると、結果をクラスターの種類別に並べ替えることができます。
6. ビューが示している内容を反映した特定の名前（たとえば「クラスタモデル別の容量」）でビューを保存します。
7. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
8. *スケジュールの追加*をクリックして、*レポートスケジュール*ページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義します。
9. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✔）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、特定のクラスタに容量を追加したり、古いクラスタ モデルをアップグレードしたりすることができます。

Active IQ Unified Manager で未割り当て LUN 容量を持つクラスターを特定する

未割り当てのLUN容量が最も多い（0.5TBを超える）クラスタを検出するレポートを作成して、ワークロードを追加できる場所を特定できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、未割り当てのLUN容量が最も多いクラスタを表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ > クラスター をクリックします。
2. 「表示」メニューで、容量 > *すべてのクラスター*を選択します。
3. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
4. 「`Unallocated LUN Capacity`」列を「`HA Pair`」列の近くにドラッグします。
5. フィルターアイコンをクリックし、以下のフィルターを追加してから、*フィルターを適用*をクリックしてください。
   - 未割り当てのLUN容量が0.5TBを超えている
6. 「`Unallocated LUN Capacity`」列の上部をクリックすると、未割り当てLUN容量の大きい順に結果を並べ替えることができます。
7. ビューが表示している内容を反映した特定の名前でビューを保存します。たとえば「`Most unallocated LUN capacity`」と入力して、チェックマーク（✓）をクリックします。
8. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
9. *スケジュールを追加*をクリックして、レポートスケジュールページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるようにします。
10. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、クラスタの未割り当てLUN容量を使用できます。

Active IQ Unified Manager で利用可能な容量が最も多い HA ペアを表示するレポートを作成する

新しいボリュームやLUNのプロビジョニングに使用できる容量が最も多いハイアベイラビリティ（HA）ペアを検出するレポートを作成できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、新しいボリュームやLUNのプロビジョニングに使用できる容量が多い順にHAペアをソートして表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ > クラスター をクリックします。
2. 「表示」メニューで、容量 > *すべてのクラスター*を選択します。

3. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
4. 「Aggregate Unused Capacity」列を「HA Pair」列の近くにドラッグします。
5. フィルターアイコンをクリックし、以下のフィルターを追加してから、*フィルターを適用*をクリックしてください。
   - アグリゲートの未使用容量が0.5TBを超えている
6. 「Aggregate Unused Capacity」列の上部をクリックすると、未使用のアグリゲート容量が最も多い順に結果を並べ替えることができます。
7. ビューに表示される内容を反映した特定の名前（たとえば「使用率が最も低いアグリゲート容量」）でビューを保存し、チェックマーク（✓）をクリックします。
8. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
9. *スケジュールを追加*をクリックして、レポートスケジュールページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるようにします。
10. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、アグリゲートの容量に応じてHAペアのバランスを調整できます。

Active IQ Unified Manager で古いバージョンの ONTAP を実行しているノードを表示するレポートを作成する

すべてのクラスタ ノードにインストールされているONTAPソフトウェアのバージョンを表示するレポートを作成して、アップグレードが必要なノードを確認できます。

開始する前に

- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

次の手順に従って、古いバージョンのONTAPを実行しているノードを表示するカスタム ビューを作成し、そのビューのレポートを生成するようにスケジュール設定します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ>*ノード*をクリックします。
2. レポートに表示したくない列を削除するには、*表示/非表示*を選択してください。
3. 「OS Version」列を「Node」列の近くにドラッグします。
4. 「OS Version」列の上部をクリックすると、最も古いバージョンの ONTAP 順に結果が並べ替えられます。
5. ビューの内容を反映した特定の名前でビューを保存します。たとえば、「Nodes by ONTAP version」とします。
6. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。
7. *スケジュールを追加*をクリックして、レポートスケジュールページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義できるようにします。

8. レポートスケジュールの名前を入力し、その他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✔）をクリックします。

   テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

レポートに表示された結果を基に、古いバージョンのONTAPを実行しているノードをアップグレードできます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。